

～総論としてはまずまず～

2018年お正月商戦の所感

グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。



皆様、こんにちは。GA社 代表取締役 青山真将樹です。

2018年第1回目のデータCOMPASS号外をご送付させていただきます。本日は
“2018年お正月商戦の所感”について、お伝えさせていただきます。よろしくお願
い申し上げます。

■パチスロの稼働は前年並み、パチンコはやや 売上減、低玉・低コインの方がキツかった。

会員各社様から伺った内容をまとめると、2018年お正月商戦については、以下の
ような所感をもっています。

①20円パチスロは稼働面ではほぼ前年並み。 売上は若干(3～4%程度)の減となった模様。

20円パチスロについては、多くの店が稼働面では前年とほぼ同等レベルの数値と
なった模様。旧基準機の設置比率は下がったが、20スロの主軸の顔ぶれは変わら
ないため、繁忙期の“サラリーマン需要”の恩恵を受けることができた。但し、売上に

関しては、若干(3～4%?)の減となった。旧基準機が圧縮され、20スロ部門全
体の台売性能が低下した点が影響したと考える。稼働面で堅調な理由は、コイ
ン単価が高い旧基準機が主体のため、20スロ部門全体のコイン単価が2.7～2.9
円程度に保持されている店が多く、繁忙期に台粗利5000円超を取っても、粗利
率では16～17%程度に抑えることができている点大きい。(プレイヤー視点で
はパチスロの方が勝てる印象)。

② 4円パチンコは稼働・売上ともに4～5%程度減 大海4、真・慶次2を積極導入した店の方が良かった。

パチンコは稼働・売上ともに4～5%程度の減となる店が多かった。これは、繁忙
期需要だけの影響ではなく、2017年後半が全体的に高粗利率となった店が
多く、ベースとなる常連客の来店頻度・客滞等が低下傾向にある影響が大きい
と考える。大海4、真・慶次2を積極導入した店の方が4円パチンコ部門全体稼
働も好調であった印象。(パチスロ部門を含め、大海2、真・慶次2積極導入
店の方が良かった。) 両機種を積極導入できる店は、元々、強い店が多いこと
も要因としてあるが、パチンコ部門全体の勝率が低下している中、“商品の鮮度”
をウリにできる店の方が集客力を発揮できていると考える。

③ 低玉・低スロの方が苦戦印象。特に旧基準機撤去 影響が大きい低スロ部門の台売が大きく減。

高単価部門(4円・20円)以上に低単価部門(低玉・低スロ)の方が停滞感が
あった。稼働では低玉・低スロともに前年比で5%程度減。低玉は3個戻し甘デジ、
低スロは新基準機の比率が上がっている点が稼働停滞の要因として大きい。
低スロは、旧基準機撤去の影響を大きく受けて、台売りが1割近く低下。粗利も
低下した。全体的に高単価部門に対する対応に追われ、低単価部門への対応
が後手となって店が多く、繁忙期商戦で停滞をまねいた印象。

ぜひ、皆様のお店の実績と比較してみてください。2018年は厳しい市況だけど、
絶対に勝ち抜くぞ!! 本日も最後までお読み頂きありがとうございました。